

文字の普及と語る力の低下 ～地域性豊かな昔話の変遷～



鈴木 勝

昭和初期までは、祖母が孫たちに昔話を聞かせていたものである。同じ題名であっても、それは地域によって内容が様々であり、時には残酷な内容のものもあった。

例えば、皆さんもよくご存じの「鶴の恩返し」では、姿を見られた鶴が飛び立つ前に捕えられ、食べられてしまう。また、鶴が織った生地で贅沢をした老夫婦が借金を重ねてしまい、最後には野垂れ死んでしまうなど地域によって様々である。

日露戦争後、義務教育の年限を6年に改正した。これは、新兵の読み書きを向上させることで、軍事訓練を効果的に実施するためである。

これにより、識字率が向上したとされている。

文字の普及とともに絵本の内容が統一され、恐怖感の無い物語やロマンチックなものとなった。内容が統一された代わりに、私たちは何も見ずに、何分も物語を語る力が薄れていったように感じる。私たちが時間の経つのも忘れて、何時間でも話をする事ができるのは、人の悪口ぐらいなのだろうか。いや、悪口も考えようによっては、プラスの言葉に変えられるので、逆転の発想を持って、良い人間関係を構築していきたいものである。

インターネット通販等のトラブルに注意

新型コロナウイルス感染症拡大により、インターネット通販の利用が増えています。一方で、「注文した商品がイメージと違う」「商品が届かない」「お試しで頼んだら定期購入だった」「子どもがオンラインゲームで多額の課金をしていた」などのトラブルが多発しています。利用には注意が必要です。

消費生活センターからのアドバイス

- ①通信販売にはクーリング・オフ制度はありません！
→返品特約により返品ができる場合もあります。購入前に確認しましょう。
- ②お金や個人情報の搾取を目的としたサイトに注意！
→大切なお金や個人情報を渡してはいけません。安い、日本語が変など不安に思うことがあれば購入を止めましょう。
- ③定期購入であるか、注文前に確認！
→広告に惑わされず、定期購入であれば解約方法を確認します。
- ④子どものゲームの時間・課金は家庭内でルール作りを！
→親の古いスマホでWi-Fiの下、子どもが無料ゲームをしていると思っても、カード情報登録により課金がカード決済になっている場合があります。

トラブルや不安に思った場合には、できるだけ早く消費生活センターにご相談ください。

ひとりで悩まず すぐ相談！

消費者ホットライン

188 局番なし

又は

松伏町消費生活センター

☎ 991-1854

人権 それは愛

「心の戦争・心の病」 後編

世界にはいろいろな国があります。お金もなく毎日を生きているのが必死で、人間同士助け合い「バカ」などと、悪口を言わない国だってたくさんあります。けれど日本は、今、心の病にかかっている、悪口病になっています。そして私も、きっとその中の一部分なのだと思います。それはなぜかということ、よく兄に「バカ」「アホ」などと気軽に言ってしまうからです。

えらそうなことを言っている自分がまさしく悪口病じゃないですか！このままではいけないと思い、今、悪口を減らそうと努力しています。

そのほかにも「キモイ」「ウザイ」などの短い言葉だけど、言われるといやな言葉はまだあります。言う人は、ほんの一言で言えるので、なにも考

問合せ

教育文化振興課 ☎991-1873

企画財政課 ☎991-1815

えずに口走ってしまうのだと思います。現実にもみんなも「ウザイ」とかいう言葉を耳にします。

私がもしそんなふうにならたら……とても悲しいです。言われることも悲しいけれど、そんなことを言う人がいるということもとても悲しいです。ですから私もですが、みんなも相手の気持ちをしっかり考えて、悪口をへらすように努力してほしいのです。

世の中でいらない人なんていません。だから「死ね」「消えろ」「うせろ」などは、この世に存在なくてよい言葉です。言われて悲しい言葉をだれもが使わない、楽しい社会になったらよいと思います。高速フル回転の銃だんなんていらないと思います。

人権作文集～こころ～ より